

# みんなで行こうよ!夏のイベント! うしくかっぱ祭り

会場で  
待ってるよ



うしくかっぱ祭りは、牛久市を代表する祭りです。今年の「牛久市制施行30周年記念第35回うしくかっぱ祭り」の開催は7月30日(土)・31日(日)です。

詳細は、「広報うしく」7月15日号でお知らせします。

問い合わせ うしくかっぱ祭り実行委員会事務局(商工観光課内) ☎内線1821~1823

## かっぱ祭り誕生

牛久市は昭和50年頃から、ベッドタウンとして発展し、人口が増加しました。そんな中、市民の触れ合いを生むことや子どもたちが郷土愛を育むことを願って、昭和56年にかっぱ祭りの前身である「ふるさとまつり」が誕生しました。そして、名称を翌年の第2回開催から「うしくカップ祭り」に変更し、さらに平成3年の第11回開催から「うしくかっぱ祭り」と改めて今年で35回目を迎えます。

(昭和60年はつくば科学万博開催により中止)

## どっしって河童?

牛久市には牛久沼の河童の伝承や昔話が残されています。また、河童の絵を多く残した小川芋銭の育った地としても有名です。牛久市民にとって古くから身近な存在だった河童にちなんで、祭りの名称に河童が付けられました。

## みんなが踊る「河童ばやし」

かっぱ祭りのメインイベントと言えば「河童ばやし」の踊りパレード。ヤッペヤッペヤッペ」と思わず口ずさんでしまう「河童ばやし」もまた、祭りと共に誕生しました。市内在住の作詞家中島清治さんが作詞をし、西川扇若衛さんが誰にでも気軽に陽気に踊れるようにと振り付けをしました。河童の泳ぐ姿などをイメージした振り付けで、河童ばやしの中には牛久市の風情名所が織り込まれています。その河童ばやしに合わせて参加者はひとつの大きな輪になって踊ります。



# みんなで踊っちゃおう! 河童ばやし

ぼくが教えるよ♪

(最初・チョチョンがチョン)



1

①右手の平を上向きにし左手を伏せて顔の前に出すと同時に右足を一步出し、上体を前かがみにします(顔は下向き)。



2



②左手の平を上向きにし右手を伏せて顔の前に出すと同時に左足を一步出し、上体を前かがみにします(顔は下向き)。

3



③ ①と同じ。

泳いでいるように

4



④ ②と同じ。

5



丘に上がるイメージで

⑤右足を左足に添えて両手をかざします。

⑥両手をかざしたまま、首を軽く振りながら右足から二歩前進し、三歩目に足を揃えます。

6



7



辺りを見回す

⑦右足を前に上げ、左腰前で一つ手をたたく。この時、右上手、左手下で重ねるようにたたく。

8



⑧左足を前に上げ、右腰前で一つ手をたたく。この時、左上手、右手下で重ねるようにたたく。

景色に見とれて手を打つ

9



⑨左足を右足に揃え、胸の前で手を打ちます。すぐ①に戻り、繰り返し踊ります。

## INTERVIEW

河童ばやし振付師

日本舞踊西川流

にしかわせんわかえ  
西川扇若衛さん



西川さんは、「河童ばやし」振り付けの生みの親。

「かっぱ祭りは住民の絆を深めるために始まったお祭り。だから子どもからお年寄りまでみんなで踊れる振り付けをと考えました」

踊りでは、牛久市の代名詞であるかっぱの泳ぐところや、陸に上がり辺りを見渡す様子が表現されている。

祭り開催の前は、行政区や学校、事業所などからの依頼を受け、踊りの指導に忙しい日々を送る。

「毎年、かっぱ祭りでたくさんの人たちに出会えるのが楽しみです。これからもたくさんの人たちにこの「河童ばやし」を楽しく踊ってほしい」と西川さんは話す。

また、西川さんは牛久市と親善友好都市である宮城県色麻町の「カッパブギ」の振り付けも行っており、都市交流の一端も担っている。

西川扇若衛さん指導による「河童ばやし無料レッスン」を開催します。詳しくは10ページをご覧ください。

### イベントがいっぱい

「河童ばやし」の踊りパレードのほかにも、イベントが盛りだくさん。メイン会場が歩行者天国になるとスタートするのが演奏&ダンスパレードです。市内の小学生が日頃の練習の成果を発揮する舞台となっていてます。演奏&ダンスパレードに続いて行われるのはよさこい鳴子踊りパレード。総勢300人で踊る鳴子踊りは圧巻です。そして祭りのトリアを務めるのは商工みこしと

### ボランティアも活躍

かっぱ祭りを影で支えているのがクリーンキーパー。皆さん、ボランティアで活動します。祭り開催中、会場内の清掃活動を行っています。

上町の山車です。威勢の良い掛け声や陽気なお囃子が会場に響き渡ります。

市役所敷地内のステージでも演奏やライブ、うちの大会抽選会も行われています。